

「社会調査実習報告書」に関して

「本共同研究の特徴」(p.4)でも述べられているように、都立高校生調査は東京大学教育学部比較教育社会学コースにおける「社会調査実習」の授業で、学生がコースのスタッフやTAの指導を受けながら実施したものです。学生たちは調査データを自ら分析し、レポートを執筆し、報告書(東京大学教育学部比較教育社会学コース編『都立高校生に関する調査報告書——専門高校に着目して』、以下「社会調査実習報告書」と表記)にまとめています。この報告書は5月の大学祭で実施したシンポジウムにて、来場者に配布されました。本報告書の第2部から第4部において学部生4名が執筆した原稿も、「社会調査実習報告書」でのレポートに加筆・修正を行ったものとなっています。そのほかにも、簡単な度数分布や二重クロス表などでは、重複する分析が存在します。なお、「社会調査実習報告書」と本報告書とでは、分析に用いた調査データの範囲が異なるため、「社会調査実習報告書」と本報告書の数値が一致しないことがあります。

「社会調査実習報告書」の執筆者および分析テーマは下記の通りです。

〈第Ⅰ部 授業〉

- 高木 稚佳 高校生の「勉強意欲」——進路多様校の普通科と専門学科を比較して
山田美都雄 数学への意義づけと高校教育——専門・普通科高校の比較から
笠井 友貴 コミュニケーションに関わる教育活動が自己効力感に与える影響——性別による影響の差異に着目して
大桃 裕史 共同実践型授業が将来不安に対して及ぼす効果——専門高校の生徒と普通科高校の生徒との比較
桑田 恵 専門教育と学業適応——内発的動機づけと階層分化に着目して

〈第Ⅱ部 意識〉

- 堤 孝晃 教育の職業的レリバンスと政治的自立
大草 佑太 普通科、工業科、商業科の生徒間比較にみる学校内・学校外文化意識
今岡 直之 「専門性」という「社会的承認」の可能性——積極的な社会的主体の形成のために
朴 炫貞 工業科高校の女子生徒が持つ「専攻への志向性」——数・イメージ・専攻への志向性のミスマッチングの可能性への提起を中心に
木下 慎 専門高校生の行動意欲はいかに形成されるか——選択動機・友人関係・キャリア教育の観点から
木村 祥紀 業績主義の動機付け効果と普専におけるインセンティブの違い

〈第Ⅲ部 進路〉

- 喜多下悠貴 専門高校と個性観——「自分探し」を超えて
福本 一威 アイデンティティとしての専門性が専門高校生にもたらす作用
江上 由美 専門高校における進路選択意識とその規定要因——生徒の中学時成績に着目して
小黑 祐介 専門性へのこだわりと主体的な進路選択——こだわりの形成経路に着目して

〈第Ⅳ部 対人関係〉

- 高田 省吾 家庭での活動が関心分野形成に与える影響
三宅 俊輔 高校生がマナーを身につける過程——異質な他者とのコミュニケーション能力に着目して
浅松 珠江 専門高校における友人関係の研究——クラス内の友人は学習意欲を喚起するの
世田 将人 規律指導と権威主義——高校における諸注意が生徒の心に生み出すもの